

2015年10月4日

## APNIC 40 参加報告書

ジミー ハディ スサント

### 1. カンファレンス情報

- カンファレンス名 : APNIC 40
- 開催場所 : ジャカルタ、インドネシア
- 開催日 : 2015年9月8日～2015年9月10日

### 2. 参加したセッション名

本カンファレンスにおいて、以下のセッションに参加させていただきました。

- Opening ceremony and keynotes
- APOPS I
- Newcomers luncheon
- APOPS II
- Lightning talks
- DNS variant management BoF
- Opening reception
- Internet routing registry and RPKI tutorial
- DNSSEC tutorial
- Hypes? Fanfares? Fads? Wading through the muddy IPv6 puddle
- Security session
- APNIC fellow dinner
- Policy SIG 2
- Policy SIG 3
- Mentoring
- AMM
- APNIC Closing dinner

### 3. 印象に残ったセッション

参加したセッションの中で特に印象に残ったのは以下のセッションです。

- **Opening reception**

このカンファレンスに参加した理由の一つは、様々な国のインターネット分野のエキスパートたちとネットワークを作ることです。そのため、多くの人と話す機会が最も多い **Opening reception** に参加し、積極的に名刺交換などをしました。インドネシアの大学生達をはじめ、APNIC と ICANN の偉い方々や、アメリカのマスターハッカーまでつながりができて非常に貴重な経験でした。また、昼間に行われたセッションと違って、自由な雰囲気だったので技術的なことからプライベートなことまで気軽に質問することができました。

- **DNSSEC tutorial**

私は DNS サーバの運用と保全の仕事をしています。そのため、DNS と関連するセッションに非常に興味を持ち、なるべく積極的に参加するようにしました。その中でも、特に **DNSSEC Tutorial** が最も印象に残りました。今、私が働いている会社では、DNSSEC に関する知識があまり知られていないため、その技術の導入率はまだ少ないです。少しでも DNSSEC についての知識を吸収して DNSSEC の導入率を上げたいと思ったため、このチュートリアルに参加しました。

このセッションに参加することで、DNSSEC でできることや、DNSSEC の具体的な設定方法、DNSSEC で新たに定義された概念など全くわからなかった DNSSEC について理解することができ、非常に役にたつセッションでした。また、セッションの終わりに、発表者である ICANN の方に DNSSEC とポートランダムマイゼーションの違いに関する質問をし、疑問をクリアすることができました。

- **DNS variant management BoF**

このセッションでは、Saudi NIC が開発したアラビア語に関する DNS システムの技術について紹介されました。私にとってこのセッションが非常に面白いと思った理由は 2 つあります。1 つ目は、DNS の仕事をし

ているため DNS の最新技術について知りたいからです。2 つ目の理由は、今アラビア語を勉強しており、ICT 世界でアラビア語はどのように使われているのかを知りたいからです。

アラビア語は文字が非常に複雑で、同じ読み方と同じ意味でも様々な書き方があります。また、同じ文字でも、サウジアラビアで使われる文字コードとイランやエジプトで使われる文字コードが異なるため、さらに名前解決システムの開発が難しくなります。アラビア語を使うときに発生したこの DNS の問題を解決することで、中国語や韓国語、ヘブライ語など文字が複雑な言語にも使えるので、非常に優れた技術だと思います。セッションの終わりに、発表者である Raed Alfayez さん (Saudi NIC のダイレクター) と名刺交換し、アラビア語を使った DNS に関する疑問を今後色々と質問したいと考えています。

#### 4. 今回の経験を今後どう生かしていきたいか

このカンファレンスに参加することで同じ分野で働いている様々な国からの人となりができ、自分の世界が広がったと感じています。今まで何か技術的な問題があれば会社の人としか相談することができなかったので限られた意見しかいただけませんでした。今後、このカンファレンスにつながりのできた方々と質問することもでき、より豊富なアイデアや思いつかない解決方法など教えてもらうことができるのではないかと思います。

#### 5. 参加支援プログラムに対する所感

APRICOT-APAN2015 フェローシップ委員会のおかげで APNIC 40 カンファレンスで貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。フライトをはじめ、宿泊やスケジュールなど全てご調整いただいたので何も不便なことなく参加することができました。また、スケジュールに関する自分の要望に対して柔軟にご対応いただき、心より感謝いたします。

今後の支援プログラムに関して要望を言わせていただくと 1 点あります。それは支援プログラムの募集人数を増やしていただきたいです。我々にとっ

て、このような機会は必ず将来に役に立つので、4人だけではなくより多くの若者達をご支援していただきたいと思います。また、支援プログラムにご参加される方々へのアドバイスについてですが、恥ずかしがらずに他の国の人と話すことが大事だと思います。せっかくエキスパートたちと会うことができ貴重な機会なので、積極的に交流しましょう。